



ShowNet Sponsorship Program 2026

～コントリビュータ参加募集要項～

Interop Tokyo 運営事務局（株式会社ナノオプト・メディア）
shownet@f2ff.jp

ShowNetの構成要素と、プログラムの概要について

はじめに 「ShowNet」 とは

最新技術/最新製品のショウケース・実稼働するネットワーク・世界に類を見ない相互接続検証デモ

- 「ShowNet」は約15万人の来場者に向けて実施される最新技術・最新製品の一大ショウケースです。
- 単にネットワーク機器をたくさん並べて置いたというような展示ではなく、出展社や来場者に向けて超広帯域な回線でインターネットに接続可能なネットワークサービスを提供する実稼働ネットワークとしても機能します。
- 実稼働ネットワークとして安定したサービスを提供しながらも、2年後3年後、または10年後に必要なモデルテーマが設定された非常にチャレンジングなコンセプトネットワークでもあります。

”Interop” その精神

- 「Interop」は、”Interoperability”(相互運用性・相互接続性)という言葉がもととなったイベント名です。Interoperabilityを合言葉に、ネットワーク機器を相互に接続し、実際に運用することで課題を解決しながらインターネットとネットワークテクノロジーは発展してきました。
- インターネットとネットワークテクノロジーの進化の歴史において、Interopの会場に構築されるこのShowNetこそが、常に最新の機器やサービスを相互に接続し、実際に運用し、課題を検証し、その結果を広く共有するための重要な場として機能してきました。

ShowNetを作るヒトとモノ

- ShowNetでは、産学界から集まったエンジニア集団である「NOC (Network Operation Center) チームメンバー」がコンセプトについて議論して決定します。
- このコンセプトに沿って必要となる最新の製品・サービスが、Interop出展社から集まったShowNet参加企業（コントリビュータ）によって提供されます。
- さらに会場での構築から撤去までは一般から公募したボランティア「STM(ShowNet Team Member)」がサポートを行います。
- この三位一体、総勢約600名以上のエンジニアが集って構築する巨大なプロジェクトとなっています。
- ShowNetには毎年多数の参加者が集まり、短期間に巨大なプロジェクトを成し遂げる中で、ネットワークテクノロジーの発展に貢献する、強固なエンジニアコミュニティが形成されています。

「ShowNet Sponsorship Program」とは

ShowNetに無償で機器やサービス、人材や技術提供をいただく（コントリビューション）プログラムです

- ShowNetを構成するすべての機器やサービスはコントリビューションをベースにして成り立っています
- 本プログラムは、Interop Tokyoおよび同時開催イベントの出展社のみなさまが、「コントリビュータ」としてShowNetに参加するためのプログラムです
- なによりShowNetの趣旨を理解し、インターネットの技術発展に貢献をするため、という意味をもったみなさまの参加を求めています

本プログラムの参加にあたっては、いわゆる参加費というようなものは発生しません

- ただし、本プログラムの参加にあたっては「Interop Tokyoおよび同時開催展の出展社であること」という条件は満たしていただく必要があります
- 参加にあたって発生する機器の輸送費や保険、参加人材の交通費や宿泊費等の実費は参加各社負担でお願いしています

ShowNet コントリビューションポイント

- 機器の提供台数、価格、さらにはミーティングへの参加や、人材の派遣、ShowNetとしてPRとなるような機会を提供いただくことなど、様々な角度からポイントを付与します
- ShowNetというプロジェクト全体は展示会出展社の皆様の出展費の一部によって成り立っています。そのためコントリビュータとして参加された企業のInterop Tokyo および同時開催展全体への出展規模の大小もShowNetへの貢献度として考え、コントリビューションポイントに反映されます

スポンサーランク

- コントリビューションポイントの合計によって3種類のなかからスポンサーランクを決定します
- スポンサーランクに応じて様々なメリットを還元します

機器やサービスの提供期間は事前検証期間”HotStage”から展示会会期終了までが原則です

- 機器やサービスによっては異なる期間となることがあります
- 人材参加が必要な期間やその負担などは提供される内容によって異なります。個別にご相談ください

本資料では、Interop Tokyoおよび同時開催展のご出展社様に向けて、ShowNetに機器や人材を提供し、「コントリビュータ」として参加するためのプログラム、「ShowNet Sponsorship Program」についてご説明いたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

参加要項とスケジュール

■ 「ShowNet Sponsorship Program」 参加への大まかな流れ

1. 出展（2025年11月末一時締め切り、2026年2月末最終締め切り）

- 参加資格を満たすためにまずはInterop Tokyo または同時開催イベントに出展の表明をいただきます

2. 本プログラムへの参加表明（2026年2月末締め切り）

- 参加申込、提供したい機器・サービスの提案、NDAの締結（3/11締切）

3. ミーティングへの参加（2025年12月から毎月一回程度開催）

- 月一回開催されるミーティングにご参加いただきます
- NOCチームメンバーが提示するコンセプトとのすり合わせを行います
- 詳細な接続や設計について確認していただきます
（※ご提案いただいた提供機器・サービスがコンセプトと合わないなどの理由で参加をお断りすることもあります。）

4. 提供内容の最終決定とスポンサーランクの決定（2026年4月下旬予定）

- 最終的な提供内容が決まったら、ShowNetへの”貢献度”をポイント化し、スポンサーランクを決定します

5. “HotStage”：ネットワーク構築と検証の期間（2026年5月28日～6月5日）

- 会場への機器の持ち込み、設置・設定作業やトラブルシューティングなどを実施します

6. “Deploy”（2026年6月6日～9日）

- HotStage中に設定した機器を実際に幕張メッセ会場に展開し、稼働させます

7. “Introp Tokyo” 会期中のアピール（2026年6月10日～12日）

- スポンサーランクに応じて様々なマーケティングメリットを還元します

ShowNet にコントリビュータとして参加するメリット

1. 「最新ネットワーク技術のショウケースと認知されているShowNet」で製品や技術の効果的なアピール

- 貴社製品・サービスを実稼働している状態で来場者にアピールできます。また、ShowNetブースラック搭載機器と自社ブースとの連携デモンストレーションも実施可能です

2. 「動く」という実績作り

- 最新、最先端の技術を盛込んでいるShowNet。約15万人の来場者と400社にもものぼる出展社に安定したサービスを提供しているということは、まさにこうした大規模な環境で「動く」ということを証明しています。自社製品の「信頼」と「実績」を来場者へ効果的にアピールできます

3. 相互接続実験/検証

- 自社のみでは難しい複数企業・製品間での相互接続検証が可能です。その中には「世界初」や「日本初」の取り組みもあります

4. NOCチームメンバーが提供機器・サービスをアピール

- ShowNetの成果や、取り組みについては会期中にプレス・来場者向けのツアーやセッションなどの企画を多数実施します
- ShowNetで活躍している製品やサービスなどNOCチームメンバーからの視点で紹介します

5. 人脈形成

- 各種ミーティング〜本番までのほぼ半年間を通して、NOCチームメンバーやコントリビュータなど、普段出会うことがなかなかできないような人との人脈形成ができます

6. 各種マーケティング的なメリット（貢献度に応じた露出等）

- 貢献度に応じたポイントによりWebサイトや当日の会場内サインへの露出などの各種のマーケティングメリットを還元いたします

スケジュールと提出物

日程	全体の進行	詳細	配布物 / その他
2025年12月15日	第1回ShowNetミーティング	2026年度コンセプト説明 / イメージ提示 / 各社ヒアリング	メーリングリスト開設
2026年1月13日	【締切】 ヒアリングシート		
1月16日	第2回ShowNetミーティング	2026年度ShowNetデザイン案 / 各社ヒアリング	提出物サイト開設
2月13日	【締切】 ShowNet Sponsorship Program参加申し込み / 提供機器提案書 / NDA回覧		
2月20日	第3回ShowNetミーティング	提供機器提案書をベースに各社詳細ヒアリング / デザイン案説明	NDA最終版配布
3月11日	【締切】 NDA締結 / スペックシート		
3月18日	第4回ShowNetミーティング	スペックシートを基に機器・サービス調整 / 各分科会の討論	Tシャツコントリビューション募集
4月14日	第5回ShowNetミーティング	搬入出について / 各分科会の討論	
4月23日	【締切】 メリット還元シート / モジュールポート構成調査票 / コントリビュータロゴ		
4月下旬～5月上旬	ラックマウント構成案発表		
5月14日	第6回ShowNetミーティング	最終確認 / 各分科会の討論	車両証等
5月28日（木）～ 6月9日（火）	事前検証期間(HotStage)～構築期間		
6月10日（水）～ 6月12日（金）	Interop Tokyo 2026 開催		
6月13日（土）	撤収予備日		
7月下旬～8月上旬	ShowNet報告会		

参加申し込みの手順

ShowNet Sponsorship Program参加資格と参加申込

1.参加資格

1. Interop Tokyo 2026 及び同時開催展において、通常小間出展、カウンターブース等の出展、セッションスポンサー(※1)のいずれかとして出展していること
2. 出展社一覧に掲載される社名と、ShowNetコンピュータとしての社名が同じであること(※2)
3. 出展形態によってはコントリビューションポイントの合計にかかわらず、スポンサーランクに上限がある場合があります(※3)

※1:主催者招聘セッションへの登壇は参加資格要件に該当しません

※2:共同出展等の場合等で一部例外があります。詳細は事務局までお問い合わせください

※3:最上位のSponsorランクに到達するためには出展内容の条件があります

【参加資格に関連する注意事項】

- 本プログラム参加受付から出展申込締め切り日までの期間中は、正式な出展申込前の状態でもミーティング等にご参加いただくことは可能です。事務局までご相談ください
- ShowNetはボランティアベースのプログラムではありますが、構築にかかる会場費や配線費、電気代などプロジェクトにかかる経費は、Interop Tokyo および同時開催展にご出展いただいているすべての皆様の出展費の一部によってまかなわれています。このことから例えばShowNetだけに参加し、展示会には出展しないということとはできないというのが上記の参加資格を設けた趣旨となっております
- セミナー参加のみ等で自社ブースがない場合、ShowNetに提供した機器を設置・運用する以外の用途（自社拠点とするなど）でShowNetブース利用することはできません

2.参加申込方法

第3回ShowNetミーティング（2月）開催までに、事務局宛に参加申込書をご提出ください。「参加申込書」のフォーマットは[ShowNet Information Page](#)よりダウンロードください。

申込先： ShowNet担当 shownet@f2ff.jp（担当：阿久澤・鈴木・丸岡）

【注意】 ShowNetへの参加には機密情報保持契約（NDA）の締結が必須です。

その他の注意事項

参加登録抹消

- ・ 機密情報保持契約書（NDA）を逸脱する行為が発覚した場合・他社に不利益をもたらす行為を行った場合
- ・ ShowNet提供機材/サービスの設定、テスト等NOCチームメンバーの許可を取らずに行った場合
- ・ 人を傷つける、提供機器等を破壊するような危険行為を行った際
- ・ 盗聴/盗撮等スパイ的行為が判明した場合

上記行為が発覚した場合、即座にShowNetへの参加を取り消しとさせていただきます。

注意点

1. 製品・サービスの採用は下記2点を優先させていただきます。

- i. NOCチームメンバー/事務局から提示される技術要件に沿ったもの
- ii. 期日（2月のミーティング）までにご提案をいただいた製品

*ご提供を予定されている製品・サービスについて、優れた機能を有していたとしても選考の結果により、設計上のスペック的な不一致や、ネットワークコンセプトと照らし合わせて利用方法がうまく合わなかった場合、ご参加をお断りすることがあります。予めご了承ください。

実際に参加いただく必要がある場面

参加いただくミーティングなどについて(1)

ShowNetミーティング

ShowNetのコンセプト・デザイン、概要、事務局連絡などの情報共有及び、ご提供いただく機器の使用箇所、使用方法、提供台数などといった、実際にShowNetの構築に関わる具体的なお話を進める全体ミーティングです。

また、ShowNetにおいて、より効果的に貴社製品等をアピールするなどマーケティング的なご意見をいただくためにも、技術の方のみならず、マーケティングや出展担当の方もご参加いただくことをお勧めしています。オンラインまたはリアルで開催いたします。

※参加いただいた場合は、ミーティング参加ポイントが付与されます。ミーティング参加ポイントは4月のShowNetミーティングまでが対象となります。

分科会ミーティング（不定期開催）

ShowNetで提供を検討しているより細分化されたサービスや機能ごとのミーティングです。関係各社と担当NOCチームメンバーが集まり、スペックや必要機能、必要台数の詳細を共有します。技術的な部分が中心になるので、技術ご担当の方の出席をお願いします。開催の際は各分科会NOCチームメンバーよりお声がけいたします。

※ご参加いただいた場合は、分科会参加ポイントが付与されます。分科会参加ポイントは4月までの分科会ミーティングが対象となります。

各種事前検証

事前検証（Pre-HotStage）やイベントで使用するインフラ（ファイバーやケーブル）などのチェック。事務局またはNOCチームメンバーから参加ご協力をお願いをしたうえでの任意でのご参加となります。

ご参加いただいた場合は、分科会参加ポイントが付与されます。分科会参加ポイントは4月までの分科会ミーティングが対象となります。

参加いただくミーティングなどについて(2)

事前検証期間 (HotStage)

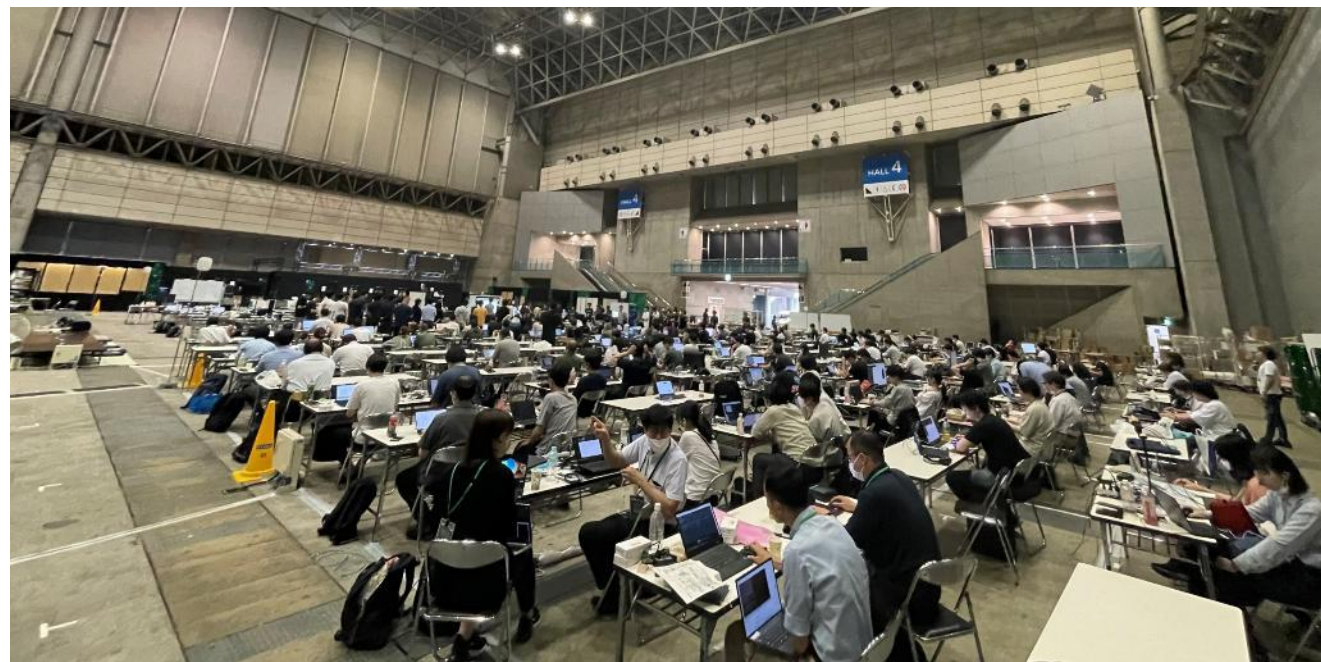
ShowNetミーティングで検討したデザインを基に構築、事前検証を行う期間です。ご提供いただく貴社製品・サービスを確実に動作させるために、適切な技術者を派遣ください。期間中は朝・夕方に定例会議が行われます。

事前検証期間 (HotStage) ・ Interop Tokyo 設営期間： 5月28日 (木) ～6月9日 (火)

HotStage～本番の定例ミーティング

会期中にNOCチームメンバー・STM・コントリビューターが一堂に集まり開催される定時ミーティングです。朝と夕方に開催され、その日の連絡事項・確認事項、翌日への確認事項等が議題となります。

※作業状況によりスケジュールが変更になることがあります



提出物と配布物

コントリビューター向けポータルサイト「ShowNet Information Page」について

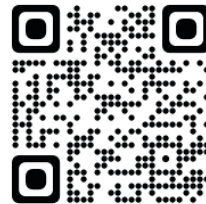
重要な連絡事項や提出物スケジュール、ミーティング申し込み、各企業からの提出物をまとめた「ShowNet Information Page」を使って、各種資料を確認・提出いただきます。また、ミーティング資料のダウンロードなども可能です。ご参加される場合にはブックマークをお願いいたします。



The screenshot shows the 'ShowNet 2023 Information Page' for contributors. It features the ShowNet logo and the title 'ShowNet Information Page For Contributor'. Under the heading '事務局からのお知らせ' (Notice from the Secretariat), there are two bullet points: 'ホットステージスケジュール公開' (Hot Stage Schedule Released) and 'ブース連携デモ申し込みを公開いたしました' (Booth Collaboration Demo Application Released). The '各種お申込み' (Various Applications) section lists two items: '5月11日(木)開催 第4回ShowNetミーティングお申込み (タイムテーブル)' and '6月8日(火) 17時締切 ブース連携デモ申し込み', each with a 'Form' button. The '提出物フォーム' (Submission Form) section contains a table with columns for 'NO.', '締切' (Deadline), '提出物' (Submission), 'フォーマット' (Format), and '提出先' (Destination). The first row shows '1 随時' (1随时) for 'メーリングリスト登録' (Mailing List Registration) in 'ご入力ください→' (Please enter here) format, with a 'Form' button.

NO.	締切	提出物	フォーマット	提出先
1	随時	メーリングリスト登録	ご入力ください→	Form

※本サイトは2025年11月ごろオープン予定です。それ以前にはアクセスできません。



URL: <https://frm.f2ff.jp/form/ssp2026/>

各種提出物

ShowNet Sponsorship Programでは、多数の提出物があります。必ず期日までにご提出ください。なお、各種提出物のフォーマットの配布方法はShowNetミーティングの際にご案内いたします。

	提出物	提出期限	提出/申請方法
1	メーリングリスト登録	随時	ShowNet Information Page
2	ヒアリングシート	1月13日	
3	ShowNet Sponsorship Program参加申し込み	2月13日	
4	提供機器提案書	2月13日	コントリビュータ専用サイト (提出物サイト)
5	スペックシート	3月11日	
6	機密情報保持契約書（NDA）	3月11日	
7	メリット還元シート	4月23日	
8	企業ロゴ	4月23日	
9	モジュールポート構成調査票 ※該当企業のみ	4月23日	
10	HotStage車輛証 ※必要な方のみ	5月14日	

上記のほかにも、ボランティア（NOC・STM）へのTシャツやグッズ提供の募集など随時募集や提出をいただくものがあります。メーリングリストやShowNet Information Pageで都度お知らせいたします。

各種提出物詳細(1)

ShowNet Sponsorship Programには、多くの提出物があります。期限内提出のご協力お願いいたします。

ShowNetメーリングリスト登録申請 随時受付

ShowNetメーリングリストは、ShowNetの全体ミーティングや、各種提出物のご案内、NOCメンバーからの技術的なお知らせなど、様々な情報を配信するメーリングリストです。

ヒアリングシート 提出期限：1月13日（火）

参加いただく皆様からのご要望などを記入いただくシートです。ヒアリングシートをもとに、今年のネットワークデザインの「案」が作成されます。参加未定の企業様もご提出ください。

ShowNet Sponsorship Program参加申し込み 提出期限：2月13日（金）

ShowNet Sponsorship Programへの参加申し込みです。ご提出いただいた情報をもとに、コントリビュータ専用サイト（提出物サイト）のアカウントの発行をさせていただきます。

提供機器提案書 提出期限：2月13日（金）

ご提出いただいた提供機器提案書の内容をもとに、ネットワークデザインが固まっていきます。

【流れ】

- 1) 提供機器提案書を提出
- 2) ShowNet NOCチームメンバーによるコンセプトとの整合確認と審査
- 3) ShowNetでの提供機器の採用可否をご連絡

【注意点】

- ・ 提供機器の審査は本年のShowNetのテーマ・コンセプトを基準に検討させていただきます。結果によっては参加いただけない場合があります
- ・ 期日までにご提出いただけない場合は、機器の使用箇所や利用法などについてのご希望に添えない場合があります

各種提出物詳細(2)

スペックシート 提出期限：3月11日（水）

ご提供いただく製品・サービスの詳細・仕様をご記入いただくシートです。こちらのシートでネットワークデザインの最終調整を行う重要なシートです。ShowNetブース造作にも大きく影響します。ご提出時には間違いの無いようお気を付けください。

機密情報保持契約書（NDA）提出期限：3月11日（水）

ShowNetを構築するにあたり、100以上の企業・団体から製品を提供いただくことになります。ご提供いただく製品の中には、未発表の製品、または特定の参加企業にとって不利となる情報などをミーティングや現場で共有する必要がある場合があります。そのため、ShowNetに関わる全ての見聞事項において（公開可能事項は除く）、すべて機密情報として取り扱っていただくことになります。

ShowNetSponsorship Programにご参加の際、必ず機密情報保持契約書（NDA）に同意が必要になります。

同意いただけない/ ご提出いただけない場合、本プログラムへの参加はできません。

メリット還元シート 提出期限：4月23日（木）

ご提供機器・サービスについて以下内容をご記入いただくシートです。

- ・ ご提供機器・サービスの**正式名称**（そのままWebサイト、会場でのパネル等に掲示されます）
- ・ 希望小売価格
- ・ 提供台数
- ・ 分野/カテゴリ

ご記入いただいた内容を基にスポンサーランクを決定させていただきます。

また、同シート内で、「コントリビュータリーダー」及び「コントリビュータスペシャリスト」のご登録（申請）いただきます。[23ページ](#)参照。

【注意】メリット還元シートを提出期限までにご提出いただけない場合、スポンサーランクを「特別協力枠」とさせていただきます場合があります。

各種提出物詳細(2)

モジュールポート構成調査票 提出期限： 4月23日（木）

ShowNetでのオペレーションを円滑に進めるため、ShowNetに接続する機器のポート構成に関する情報を収集し、データベース化します。
ネットワークスイッチ・ルータ類、各種アプライアンス・セキュリティ装置、サーバ類のようなネットワークインターフェースを持ち、ShowNetに接続して使用する機器をご提供される企業は必ずご提出ください。

企業ロゴ 提出期限： 4月23日（木）

ShowNetを紹介する各種原稿に掲載いたします。大型掲示物にも使用いたします。
必ずイラストレータデータ（aiもしくはeps形式）でご提出ください。
共同出展等で2つのロゴをご提出いただく際は、1ファイルにまとめた上でご提出ください。

各種配布物

状況により変更が生じることがあります。その際は、ShowNetミーティングもしくはメールにてご案内します。各種提出物のフォーマットおよび配布物については2ページに記載の「[ShowNet Information Page](#)」からダウンロードできます。

	配布物	配布日	内容
1	ShowNet Sponsorship Program	第1回ShowNetミーティング	本PDF
2	ShowNetミーティング資料	各回ShowNetミーティング	2026年度ShowNetの募集機器・サービスが記載されている資料です。ミーティング前日にメールでお送りいたします。
3	コントリビュータマニュアル	4月ShowNetミーティング	HotStage期間中の注意事項や機材の搬入などが記載された冊子です。
4	プロモーションガイドライン	4月下旬 メールにて告知	ShowNet Sponsorship Programにおいて、より効果的なPRをしていただくためのガイドラインです。
5	メリット案内	4月下旬 メールにて案内	ShowNet Sponsorship Programの スポンサーランク別の特典が記載された冊子です。

コントリビューションポイントの計算とスポンサーランク

スポンサーランクについて

3段階のスポンサーランク

ShowNet Sponsorship Programでは、ShowNetに対する貢献度を様々な角度からポイント化します
その合計ポイントに応じて3段階のスポンサーランクを設定し、ランクごとに様々なメリットを用意しています

ShowNet Sponsor

コントリビューションポイントが501点以上

※4小間以上の自社展示小間相当の出展、もしくはスポンサーキーノート以上のセッションを通して、イベント全体への貢献があることがShowNet Sponsorの条件となります。

500

ShowNet Co-Sponsor

コントリビューションポイントが201～500点まで

200

ShowNet Supporter

コントリビューションポイントが1～200点まで

1

ShowNet特別協力について

ShowNet NOCチームメンバー並びに事務局が主体となって、ShowNetを構築・運用するにあたって不可欠な機器・人材・サービスを必要とする場合、Interop Tokyoおよび同時開催展の出展していない企業・団体等に対して参加を呼びかける場合があります。この場合においてShowNetに参加いただく企業・団体は、コントリビューターとは区別し、スポンサーランクは付与されませんが、「ShowNet特別協力」として社名（テキストのみ）を各種媒体に掲載させていただくなど、その貢献に応じて広報を行います。ただし、あくまでNOCチームもしくは事務局からの依頼によるもののみとし、参加する側から特別協力枠での参加を申し込むことはできません。

特典案内

各種特典	Sponsor* 501ポイント以上	Co-Sponsor 201～500ポイント	Suppoorter 1～200ポイント	特別協力
来場者向けDM社名掲載	O	O	O	O
ShowNet Sponsorship Program 参加企業一覧ページ	社名テキスト + □ゴ大掲載	社名テキスト + □ゴ中掲載	社名テキスト + □ゴ小掲載	社名テキスト掲載
ShowNetの歩き方	□ゴ掲載（大）、 無料広告スペース	□ゴ掲載（中）	□ゴ掲載（小）	社名テキスト掲載
ShowNetブース スポンサーパネル	□ゴ掲載（大）	□ゴ掲載（中）	□ゴ掲載（小）	社名テキスト掲載
ShowNetステージ 講演 1枠	O	O	X	X
会場内に製品カタログ設置	3種	2種	1種	X
ShowNetテクニカルビデオ	社名掲載、自社アピール （約5分）	社名掲載	社名掲載	X
ミーティングスペース	展示会場内に 1 小間分	X	X	X
ブース選択優先権	O	O	O	O

*4コマ以上の自社展示小間相当の出展、もしくはスポンサーキーノート以上のセッションを持っていること、イベント全体への貢献があることがShowNet Sponsorの条件となります。

コントリビューションポイントの計算（1） ShowNetへの貢献

■ ShowNetへの貢献に関するポイント

ShowNetでは、人的な貢献、機材提供に関する貢献など様々な角度から貢献度をポイント化します

ポイント名	ポイント	概要
ShowNetミーティング参加ポイント	15ポイント/回	12月より毎月1回開催されている「ShowNetミーティング」にご参加いただいた場合。 ※第5回ShowNetミーティング（4月）まで対象
分野別機材ポイント	50ポイント	ShowNet構築に対して必要不可欠な製品（ラック、ケーブル、ファイバー等高額消耗品）の提供をお願いした場合。 他、事務局より個別をお願いした場合。
HotStage人材参加ポイント	5ポイント/名	HotStage開催日程中に、機器・製品のスペシャリストとなる方々を会場へ派遣していただく場合、1名につき5ポイントを加算します。※最大加算ポイントは100ポイントまでです。
大量機材提供ポイント	50ポイント	50セットを超える機材を提供いただいた場合。ただし、機器に搭載される周辺機器（モジュール、SFP等）はカウントされません。
継続参加ポイント	前年ポイント5%	前年より継続参加いただいている企業に対し、前年度ポイント合計の5%を付与。
プレゼントポイント	50ポイント	前年度、NOC/STM/ShowNetへプレゼントとしてノベルティやTシャツ、機器等をご提供いただいた場合。
ShowNetミーティング分科会参加ポイント	25ポイント/回	ファイバチェック（2回）、Pre-HotStage、その他ShowNetミーティング以外で行われるミーティングまたは作業に参加された場合。
ミーティング会場提供ポイント	30ポイント/回	ShowNetミーティング、NOCミーティング、shownet.conf_などのリアル開催にあったスペックの会議施設等をご提供いただいた場合1回につき30ポイント付与いたします。
ファシリティお助け隊	30ポイント	自社が提供する製品ジャンルによらず、構築の最初期（HotStage開始からおよそ3日目）におけるファシリティ作業（ケーブルリング、ラック設置やラックマウントなど）について、コントリビュータスペシャリスト1名以上がご協力いただける場合に付与します。ファシリティお助け隊として登録いただいた方は、最初の3日間はファシリティ担当NOCの指示のもと、作業を行っていただきます。
世界初！日本初！ポイント	150ポイント	ご提供いただく機器・製品が2026年度のShowNetにおいて、「世界初」/「日本初」の展示となる場合。複数製品がある場合でも1社150ポイントまでとさせていただきます。 メリット還元シートに記載の上、世界/日本で初公開となるということが分かるプレスリリース等を必ずご提出ください。確認が取れなかった場合、ポイントの付与はできませんのでご注意ください。 スポンサーランク決定後に申請いただいても、ポイントの付与はできません。

■ イベントへの出展に関するポイント

ShowNetのプロジェクトは、出展社の皆様の出展費の一部で成り立っています。そのため、出展規模もそのままShowNetへの貢献としてポイントを付与します

ポイント名	ポイント	概要
展示会通常出展小間ポイント(※)	30ポイントに加えて 小間数×4ポイント	基礎ポイント30ポイントに加えて、出展小間数を4倍にしたポイントを加算します。 通常小間で出展した場合に限ります。
主催者企画、パビリオン出展小間ポイント(※)	2ポイント	主催者企画コーナー、パビリオン企画、カウンターブースで出展
スポンサー基調講演参加ポイント	30ポイント	スポンサー基調講演
スポンサーセッション参加ポイント	10ポイント	展示会場内セミナーなどにスポンサーと参加

※独立した通常小間と主催者企画、パビリオンに同時にご出展いただいている場合、それぞれのポイントを付与させていただきます。
 ※複数個所に出展した場合でも、自社以外の企業ブース内の部分については、本ポイントは付与されません。
 ※複数企業が共同で1つの出展社として小間出展し、複数企業がそれぞれ単独でShowNetに参加する場合は社数で分割して付与します

■ イベント出展ポイントの計算例

例	ポイント	計算方法
独立小間（10小間）とパビリオン（2ブース）で出展	72ポイント	30（基礎ポイント） + 10（小間数） × 4 + 2（パビリオン）
パビリオンと主催者企画の両方に出展	4ポイント	2 + 2
パビリオンまたは主催者企画のどちらかに出展	2ポイント	
グループ企業内、合同出展	30ポイント	30（基礎ポイント）

提供機器製品・サービスの合計金額に基づくポイント

$$\text{提供機器製品・サービスの合計金額} \times 0.0000002$$

例) 提供機器製品・サービスの合計金額が¥100,000,000ーの場合
¥100,000,000 × 0.0000002 = 20ポイント

提供機器製品・サービスの合計金額は、「メリット還元シート」にご記入いただき、事務局にご提出ください。

【注意点】

提供機器（物理的製品）の金額については、スポンサーランク決定の他、事務局が加入する機材保険の付保の際、保険会社に以下1）～3）を開示いたします。

1. 提供会社名
2. 機器・製品名
3. 金額

スポンサーランクの決定

スポンサーランクは「メリット還元シート」を基に、4月末頃に確定します。期日までに「メリット還元シート」をご提出いただけていない場合は、「特別協力」としてご参加いただきます。予めご了承ください。

人材の派遣、機器の貸し出し期間などについて

人材の派遣について

期間中の人材派遣について

ShowNetの円滑な運用を行うにあたり、提供いただく各社製品・サービスを「より確実に」、「より円滑に」動作させるために、製品・サービスの運用が可能な適切な技術者の派遣をお願いしています。

人材派遣期間は以下のスケジュールとなります。

- ShowNet HotStage期間：2026年5月28日（木）～6月5日（金）
 - 5月28日は機材搬入のみとする予定です。機器の設定等実作業は5月29日～となります。
 - この期間はネットワークの相互接続及び検証およびネットワークの構築作業を行います。
- Interop Tokyo 搬入・設営、会期、撤去期間：2026年6月6日（土）～6月12日（金）
 - ネットワークのセットアップを行います。
 - バックボーン、出展社との接続確認を行います。
 - *上記のすべての日程は、土日の休日作業も含まれます。

コントリビュータリーダーとスペシャリストについて

■コントリビュータリーダー（必須：1名）

HotStage期間～イベント本番終了まで提供機器・製品、サービスに対して責任を持って対応していただける方で機器・製品、サービスの使用方法について決定権を持つ方をご登録ください。

- HotStage～イベント本番終了まで、提供機器・製品、サービスの荷捌きや梱包、または不具合が生じた場合、NOCチームメンバーより相談させていただき、対応を検討していただくことがあります。
- 常時、会場で待機していただく必要はございませんが、会場に不在の場合、連絡のとれる体制の準備をお願いします。

■スペシャリスト（任意：複数名登録可）

HotStage期間～イベント本番終了までの期間、コントリビュータリーダーの補佐役として提供機器・製品、サービスに精通している方をご登録ください。スペシャリストの登録は複数名可能です。

機材・機器・製品の貸借について（1）

貸出についてお願い

「ShowNet」を構築するための事前検証の場として「HotStage」と呼ばれる事前検証期間があります。このHotStage期間中に提供いただく製品の相互接続実験や新しい製品・サービスを検証し、本番の運用時に起こりうる様々なトラブルを予め解決し、開催に向けた安定運用を目指します。

機器・製品・サービスを提供いただく場合、HotStage期間～イベント本番終了までの約2週間を、借用期間とし、提供をお願いしております。

■機器借用日程：2026年5月28日（木）～2026年6月12日（金）17時まで

HotStage以外でも事前検証等がある場合や、幕張メッセ会場以外に設置される機器等については、上記期間以外の貸し出しをお願いする場合があります。その場合は事前にご相談させていただきます。

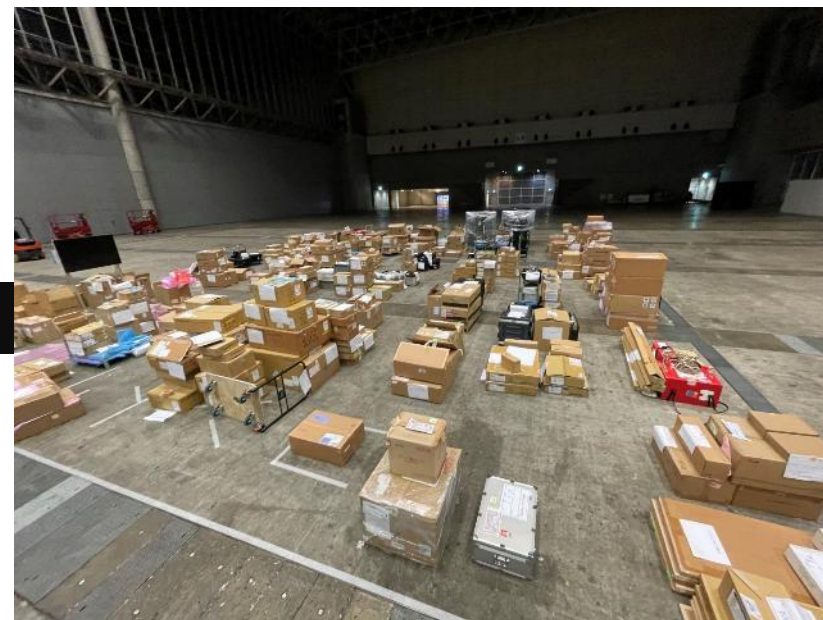
■機器輸送について

提供機器、製品は直接HotStage会場（幕張メッセ **ホール4**）へ輸送ください。貴社～会場までの輸送手配や、その際に発生する諸費用は各社にてご負担をお願いします。輸送に関するお願いについては、第5回ShowNetミーティング（4月）にてご案内いたします。

機材保険について

万一の事故に備え、事務局にて提供機器の損害保険（総額1億円まで）に加入いたしますが、機材の価格によっては総額の保証ができない場合があります。そのため、本プログラムへの参加企業におかれましては、各社負担にて保険の付保をしていただくことをお勧めします。**機材保険は、物理機器のみとなります。**非物理（ソフトウェア等）や20万円以下の製品については保険の対象外となります。

事務局による保険付保は、メリット還元シートに記載の製品・価格が対象となります。



機材・機器・製品の貸借について（2）

機材の返却・撤収

ご提供いただいている機材については、会期終了後、順次撤去・回収となります。

撤去・回収のタイミングの詳細は、6月12日（金）の撤収ミーティングにてご連絡いたします。

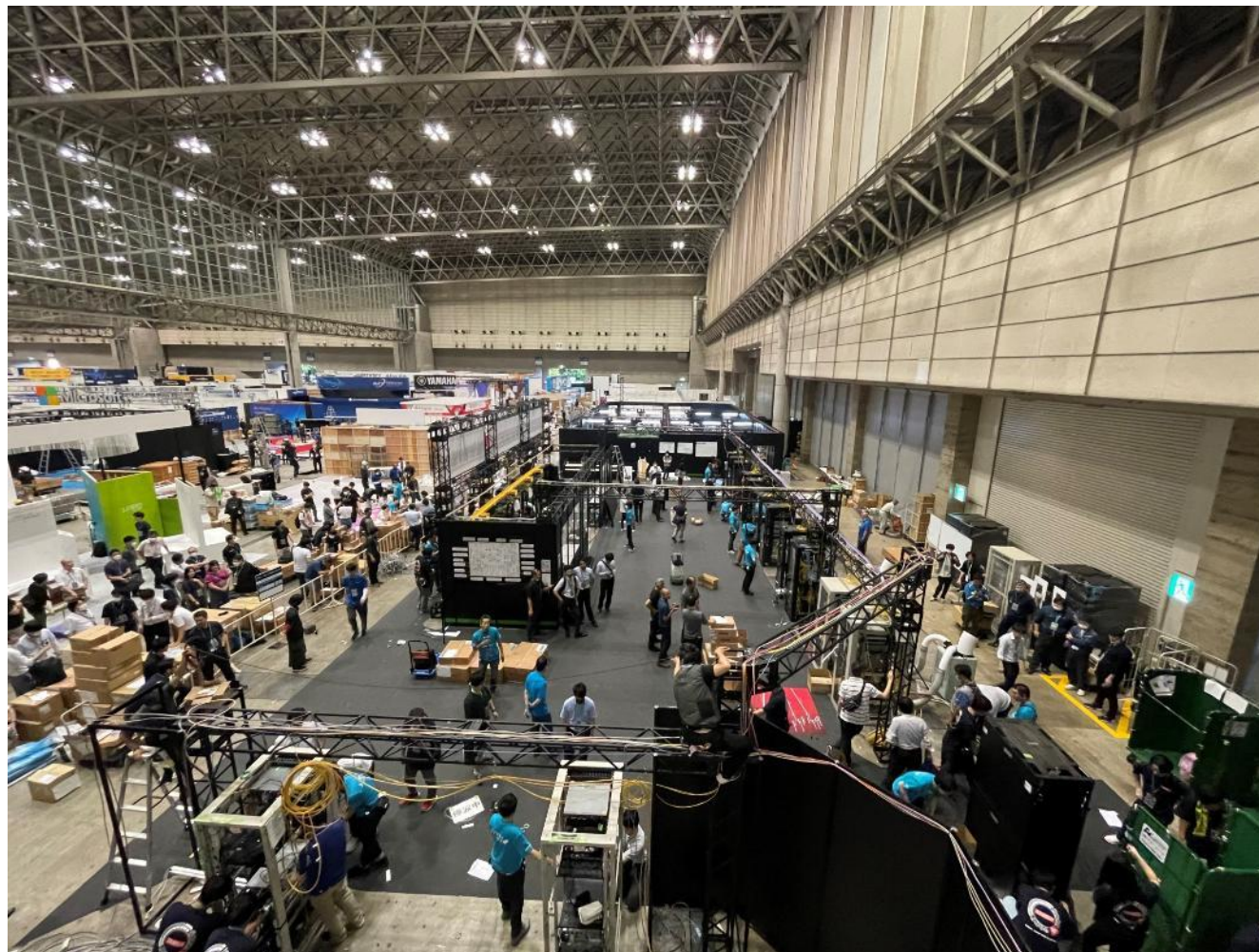
■機器撤収日時：2026年6月12日（金）17:00～

機器の撤収は、担当NOCチームメンバーの指示のもと行われます。提供機器の内容により、撤収開始・終了の時間には差が出てきます。ご了承ください。

■機器輸送について

撤去の際に生じる、会場～貴社までの輸送手配・費用については、各社にてご負担をお願いいたします。

事務局経由にて撤去を希望される参加社については、事務局にご連絡ください。事務局指定業者を別途手配いたします。この場合、後日運送費または、かかる諸費用を事務局よりご請求いたします。



ShowNetの広報・告知などについて

キャプションパネル等の掲示による製品アピール

■ラック（PODラック）に搭載される機器

ラックに搭載している機器の横、造作部分に貼り付けてください。

■ラックに搭載されない物理機器等の展示

キャプションパネル掲示

ラックに搭載されない、テスターやケーブルなどは、ShowNetブース近辺に設置した展示スペースで実機を展示することができます。

■ラックに搭載されない非物理機器等の

キャプションパネル掲示

ソフトウェア類など、まったく表に見えない内部的なオペレーション用途のものなどはShowNetブース近辺に設置した特設展示パネル上にキャプションを貼り付けてください。

掲示にはガイドラインがあります。

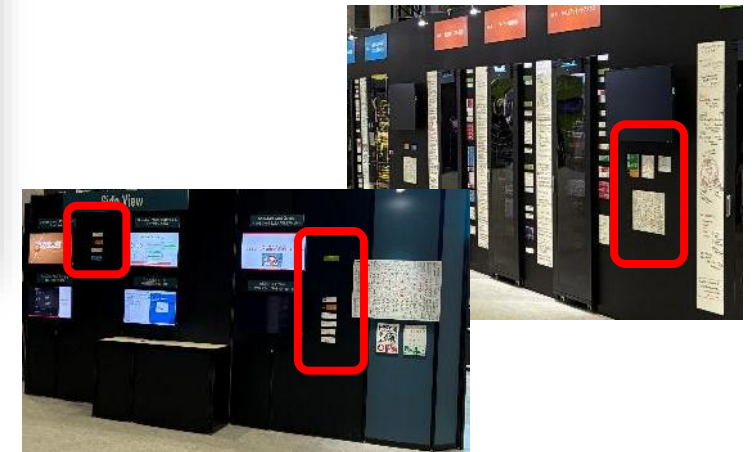
別途ご案内させていただくプロモーションガイドライン
(4月末頃にご案内)に沿って、各参加社にてご用意ください。



ラック搭載機器



ラック非搭載機器



ソフトウェア等非物理機器

その他

■ ShowNetブースから各社出展ブースへの誘導

- ShowNet専門フロアガイドマップ「ShowNetの歩き方」の発行
- ShowNetに機器等を提供しているということが一目でわかるサイン「Running on ShowNet」の配布

これらの詳細は別途ShowNetミーティングにて後日お知らせいたします。

■ 目立つShowNetブース

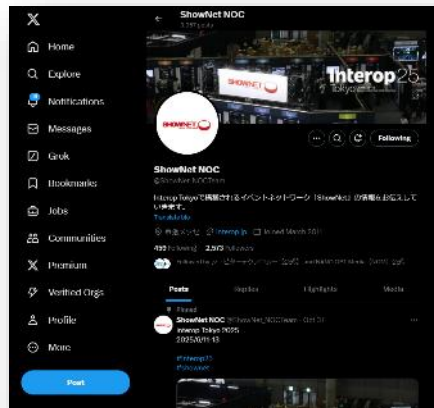
ShowNetブースはホール4の来場者入口すぐのところに配置されます。来場者が一番最初に目を付けるのはShowNetブースです。

■ Facebook, Youtube等SNSを交えたプロモーション

ShowNet NOCチームメンバーや事務局からの投稿だけではなく、各社からの投稿も紹介いたします。



ShowNetブース



X:@ShowNet_NOCteam



Facebook: interop.shownet



YouTube:@InteropTokyo30

PR事例案内（3）

■NOCチームメンバーによる製品アピール

ShowNet参加企業は、自社ブースにステージ等があれば、NOCチームメンバーに講演等を依頼することが可能です。ShowNetを「利用事例」としてNOCチームメンバーが講演することで、より臨場感のあるPRが可能になります。

※ご希望を伺った後、事務局よりNOCチームメンバーをご紹介します。

その後の、講演内容・時間については直接NOCチームメンバーと打合せをお願いします。

※NOCチームメンバーは中立的な立場で講演いたします。予めご了承ください。

※自社ブース内にプレゼンテーション設備をご用意いただく必要があります。

■連携デモ参加について

ShowNet参加企業は、ShowNetで実稼働している自社製品と、自社ブースを結ぶデモンストレーションなどを行うことができます。

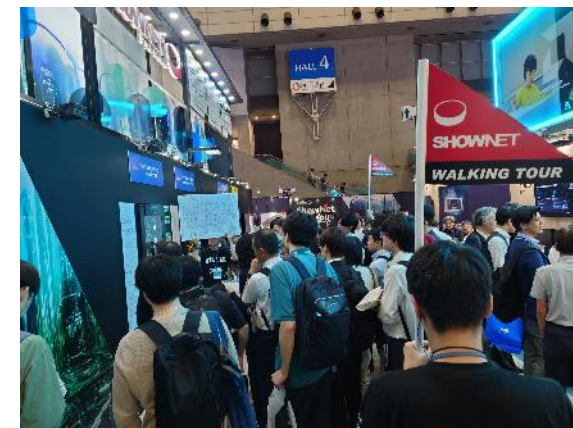
実例として、ShowNetで稼働している製品の管理画面や集計画面等を自社ブースにて紹介することや、ShowNetに参加している複数企業での連携したデモンストレーションなどがこれまで実施されました。

連携デモンストレーションは、テーマとして、より来場者への訴求力をあげることができ、事務局やNOCチームメンバーも積極的に对外発信を行う可能性が高くなります。

デモンストレーションの規模や、内容により調整内容が異なりますので、まずは事務局までご相談ください。



ShowNetステージ



ShowNetウォーキングツアー

Best of Show Award

Interop Tokyo Best of Show Award「ShowNetコントリビュータ部門」への自動エントリー

選りすぐりの新製品を、有力メディア各社のキーマンと、学术界の識者によって編成される審査委員会が審査し、「今年の一品」を決定する「Best of Show Award」。Interop Tokyoの大きな見どころの一つです。

数多くのエントリーからファイナリスト審査会を経て会期当日の本審査まで、白熱の議論の末に栄えあるアワードを手にするのはどの製品か？
まさに業界を挙げての一大イベントが、今年も開催されます。

このBest of Show Awardには、ShowNetのコントリビューションされた製品のなかから特にShowNetのコンセプトに対して貢献が大きかった、注目を集めた製品をNOCメンバーが推薦し、審査員が決定する「ShowNet コントリビュータ部門」があります。

ShowNetのコントリビュータとしてご参加いただくと、この「ShowNetコントリビュータ部門」に自動的にエントリーされます。各社によるエントリー作業は必要ありません。ぜひ最新の製品でShowNetに貢献し、アワード受賞を目指してください。



Interop Tokyo Best of Show Award「ShowNetコントリビューション部門」2025受賞者の皆様



Best of Show Award 発表
ShowNetコントリビュータ部門

グランプリ

Isovalent Enterprise for Cilium
シスコシステムズ

審査員コメント
コンテナ環境とShowNetのSRv6ネットワークの組み合わせとして、ShowNetのネットワークレイストラスを克服しました。これによって、コンテナ環境でもSRv6を容易に導入できるようになり、L3/L4のみのネットワークを向上させることが実現しました。また、Anycast SIPを備えたLoad Balancerの導入により他のホストも利用できるようになりました。



準グランプリ

XSOS-576
センコアドバンス

審査員コメント
多数の回線を収容するMDFで機器間接続の効率化を実現し、迅速な物理回線の立ち上げを実現しました。

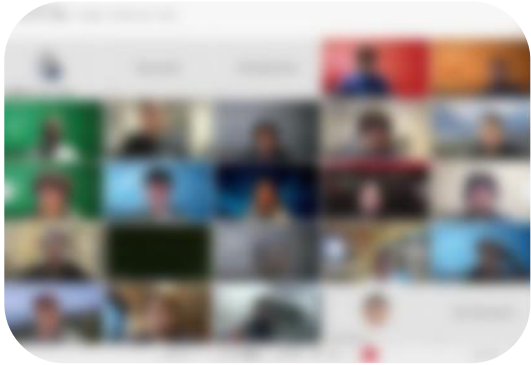


特別賞

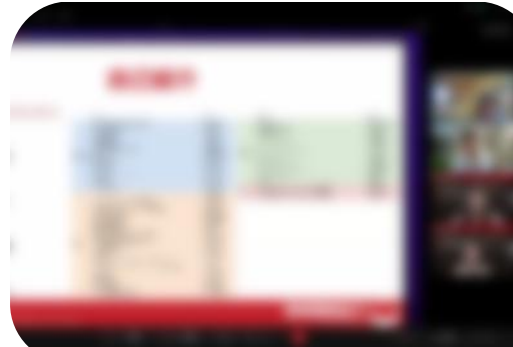
UltraEthernet 機能検証
ジェニバーネットワークス
東屋テクノロジ / Spirent Communications

審査員コメント
RoCEのネットワークと、UECのネットワークの連携、いち早くUECのネットワークを使った未来のDCネットワークへの取り組みを嘉賞し、日本初の実証に動作検証として動かし、NOCに連携したことによって、今後のUEDの発展、DCネットワークに向けた取り組みをスタートすることができました。今後のUEDへの実証としての取り組みに期待して特賞としたいと思います。

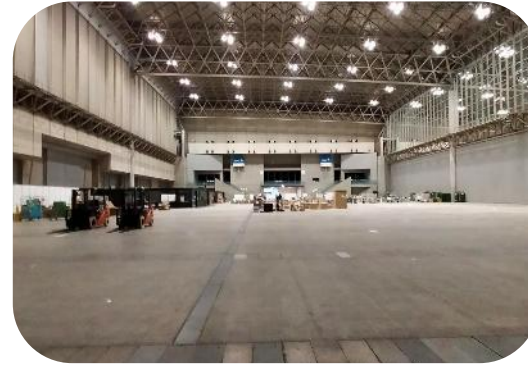
ShowNet構築～会期本番まで【イメージ】



ShowNetミーティング
(オンライン・オフライン)
12月～5月 1回/月)



STM説明会 / 面接
(オンライン)



HotStage開始
何も無い空間からスタート



HotStage期間中の作業空間が作
られています



機材のセットアップ・構築



会期本番 (ShowNetブース)



会期本番 (展示会場)



ShowNetに関するお問い合わせ

Interop Tokyo 運営事務局
ShowNet担当（鈴木・阿久澤・丸岡）
shownet@f2ff.jp



Interop Tokyo ご出展に関するお問い合わせ

Interop Tokyo 運営事務局 セールス担当
（株式会社ナノオプト・メディア内）
sales-info@f2ff.jp